

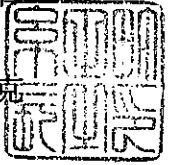


国土交通省道路局長 殿

糸建第 9 号

平成19年5月9日

糸田町長 伊藤良克



中期的な計画の作成について

新緑の頃、貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、国道201号線は、田川地区と都市部を繋ぐ幹線道路であり、近年交通量の増加に伴い、渋滞の慢性化の原因となっています。筑豊、特に田川地区は公共交通機関が少なく、自動車への依存が高いため、事故の危険性の少ない、安全な道が必要です。

現在、隣接する都市との移動時間の短縮を図るため、飯塚庄内田川バイパスの整備が進み、まもなく庄内へ抜けるトンネルが完成しようとしています。この路線が、隣接する都市との交流を活発化させ、それが自動車関連産業をはじめとする大規模な企業誘致へと繋がり、炭鉱閉山から後の田川地区の衰退からの脱却への起爆剤となり、また、高齢化が他地域に比べ進んでいるため、死亡率の高い心疾患、脳血管疾患等の一時を争う疾病者を一分、一秒でも早く高度救急医療機関へ搬送する、速度サービスの高い道となることを切に願うところであります。

また、魅力ある地域づくりのため、都市部、観光地等での渋滞の解消、人流・物流・情報の効率化を図るため、重要な施設へのアクセスを強化することが必要です。

さらにあらゆる災害に備え、代替路線のないこの地域では、災害発生時には大幅な迂回を強いられるため、災害に強い道づくりを望みます。

以上のことを踏まえ、次の項目を「中期計画」に反映していただきたく、お願いいたします。

◎市町村事業の補助率のアップ

- ・町道、県道を含め、生活道路の整備

道路特定財源において、道路歳出を削減し、余剰歳入については交付税措置とし市町村が直接、事業の行なえる予算を創設。

◎201号線の整備に伴うアクセス道路の整備

- ・県道添田・赤池線は福岡都市圏と田川地区を短絡にする重要な道路であり国庫補助事業での採択を。

◎地域間格差の対応

- ・地方の活性化や企業誘致につながる県道・バイパスの整備、広域的アクセス道路の整備。